

# 専門科の垣根を超えた頭頸部がん食道がん集学的治療のスペシャリストを目指して

## 診療科としての人材育成のポイント

当院で治療を受ける頭頸部がん、食道がん患者さんの多くは局所進行がんであり、治癒を目指すためには専門的な化学療法だけでなく、高度な外科的手技や最先端の装置による放射線治療などを用いた「集学的治療」が必要となります。また集学的治療には医師だけではなく、治療を頑張る患者さんを支える歯科医師・看護師・薬剤師・栄養士・ソーシャルワーカーなどのメディカルスタッフとの綿密な連携が必須です。当科での研修を通じて各職種との垣根を超えたチーム医療についても学び、今後の糧としていただきたいと思います。



集合写真



多職種カンファレンス

### 国立がん研究センター中央病院 頭頸部内科での研修の特徴

- 頭頸部がん、食道がんの豊富な症例から、治癒を目指す「集学的治療」の体系を学ぶことができる
- 治癒不能な転移・再発がんの標準治療、臨床試験や治験から、最新の治療を経験できる。
- 治療のエビデンスが確立されてない希少がんも豊富に経験でき、それらの治療を学ぶことができる
- 経験豊富なスタッフの指導の下、学会発表・論文発表などへの積極的学術的活動が可能である。
- 研究所との共同研究も多く、基礎、臨床の枠にとらわれない研究活動が可能である。
- 研修希望者の興味と目的により、さまざまな研修コースを設定できる環境がある。

研修に関するお問い合わせ先

国立がん研究センター中央病院  
頭頸部内科



教育担当:  
本間 義崇



メールアドレス  
yohonma@ncc.go.jp

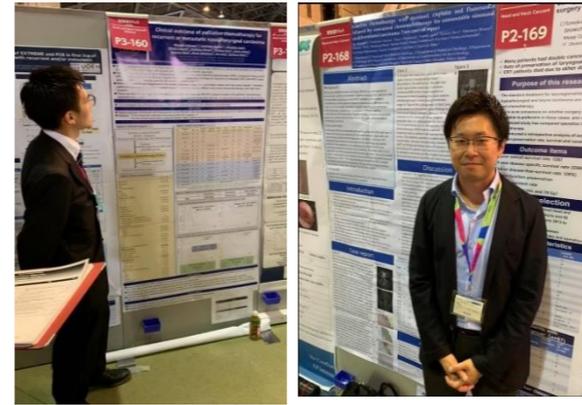
中央病院レジデントプログラム HP

<https://www.ncc.go.jp/jp/ncch/division/cepcd/resident/index.html>

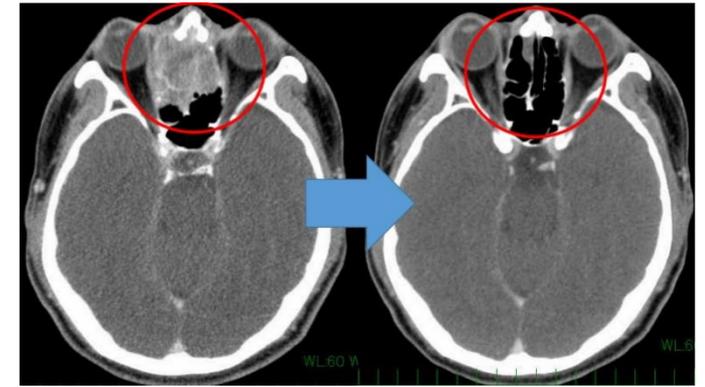


Facebook 中央病院 教育・研修情報

<https://ja-jp.facebook.com/CancerEducation/>



レジデントの先生の学会発表の様子



化学療法で著明な縮小が得られた鼻腔原発未分化癌 (Watanabe S et al. World J Clin Cases 2019; 26: 756-772.)

頭頸部・食道がんの化学療法の経験を積みたいという腫瘍内科医のみならず、外科を専攻する医師の研修も歓迎しています。頭頸部・食道領域の悪性疾患に対する化学療法・化学放射線療法を中心に、幅広い診療経験を積むことが可能です。免疫チェックポイント阻害薬、セツキシマブやマルチターゲットキナーゼ阻害薬などの分子標的薬を用いた治療も多く経験できます。また、病理診断科での研修や研究所でTranslational Researchを学ぶことも可能です。

レジデント学会発表・論文件数: レジデントが筆頭演者/著者のもの【過去3年】

国内学会(日本臨床腫瘍学会、癌治療学会、食道学会など): 2017 4件 2018年 5件 2019年4件

国際学会: ESMO1件、ASCO-GI 4件、ISDE 2件、ESMO Immunotherapy 1件

英文論文: 原著(JAMA Network Open, IJCO, Esophagus, Oncology, etc.) 14編、Review論文 4編

### 研修例: レジデント3年コース

1年目	頭頸部内科 (病棟)	頭頸部外科
2年目	緩和 CCM	放射線 診断科
	放射線 治療科	病理 診断科
3年目	頭頸部内科 (病棟・外来・論文執筆)	

✓ レジデント終了後がん専門修練医コースへ進級可能

### 研修例: がん専門修練医コース

1年目	頭頸部内科 (病棟)	頭頸部外科
2年目	研究所 (TR研修)	

### 研修例: レジデント短期コース

6か月コース	頭頸部内科 (病棟)
1年コース	頭頸部内科 (病棟)
	CCM
	消化管内科
1.5年コース	頭頸部内科 (病棟)
	病理 診断科
	緩和
	CCM
	頭頸部内科 (病棟・論文執筆)

✓ 頭頸部内科の必須の研修時期については応相談

✓ 他科研修は3か月程度を目安にローテート

✓ 頭頸部外科、放射線治療科レジデントの先生の短期の研修も随時受け付けています

### 研修例: 連携大学院コース

1年目	頭頸部内科 (病棟)	頭頸部外科	緩和	CCM
2年目	研究所 (TR研修)			
3年目	放射線 診断科	放射線 治療科	病理 診断科	消化管 内科
4年目	頭頸部内科 (病棟・外来・論文執筆)			

### 研修例: レジデント2年コース

1年目	頭頸部内科 (病棟)	消化管内科	緩和	CCM
2年目	病理 診断科	頭頸部内科 (病棟・外来・論文執筆)		